

祝 辞

本日、ここに笠野小学校の卒業式が挙行されるにあたり、新たなる旅立ちのときを迎えた卒業生のみなさんに、お祝いの言葉を申し上げます

昨年5月より、新たな令和の時代を迎えており、みなさんは、令和初の小学校の卒業生となります。6年間、勉強や運動、学校行事などに一生懸命に取り組まれ、めでたくここに卒業の日を迎えられたみなさんを、心から祝福いたします。

4月からみなさんは、中学校へと進学されますが、中学校でも、いろいろなことに挑戦する気持ちを持ってがんばってください。

この夏には、念願の東京オリンピックの開催を控えています。津幡町からは、レスリング競技で、川井梨紗子・川井友香子選手の出場が内定しており、その活躍が期待されております。みなさんにも、これから勉強や運動にますます励み、それぞれの得意とする分野で思う存分力を発揮していただきたいと思っております。

卒業生のみなさんにいちばん申し上げたいことは、ご家族の方々が、誰よりもみなさんのことを大切に思い、誰よりもみなさんの成長を喜んでおられるということです。支えてくださった方々のご恩を決して忘れず、これからもいっそうの努力をお願いしたいと思います。

ご家族のみなさま、たくましく立派に成長されたお子さまに、感慨もひとしおのことと存じます。お子さまの今日の晴れの姿は、みなさまが日々深い愛情を注いでこられた賜物であり、今日までのご労苦に対し、深く敬意を表するとともに、心からお喜び申し上げます。また、この6年間、学校の取り組みに力強いご支援を賜りましたことに、改めて厚くお礼を申し上げます。津幡町としましても、今後も全力で子どもたちの教育環境の向上に努めてまいります。

結びに、中谷校長先生をはじめ、熱心にご指導くださいました先生方には、深く感謝いたしますとともに、今後とも、彼らが多くの苦難に立ち向かいながらも力強く歩み続けられるよう、温かいお導きをいただきますことをお願い申し上げます。本日の卒業の日のお祝いの言葉といたします。

令和2年3月17日

津幡町長 矢田 富郎